

第9回 DPI 北海道ブロック会議通常総会開催記念イベント
災害時における障害児・者の現状と課題を考える
道民フォーラム開催要綱

～ 東日本大震災の現場から道内における災害要支援者への対応を模索する ～

1. 目的

3月11日(金)14時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。続く福島第1原発の事故も含めた未曾有の大災害と言われるこの東日本大震災の被災状況や支援の取り組みは、連日、マスコミ各社により報じられています。

道内外の障害者団体も被災地に入り、様々な支援を必要とする障害児・者や家族に対する支援活動を進めています。

本フォーラムは、こうした現状に関する情報の共有と今、私たちが被災地に対してできることと、今後の復興に向けた取り組みを考えるとともに、併せて、道内における日頃からの備えや防災及び災害時の対応について議論し、災害要支援者に対する必要な備えや支援を確保できる地域社会の実現に寄与することを目的として開催します。

2. 主催：DPI北海道ブロック会議

3. 後援：北海道、札幌市、(社福)北海道社会福祉協議会、(社福)札幌市社会福祉協議会

4. 日時：2011年 6月25日(土) 13:00～17:00

5. 会場：札幌市身体障害者福祉センター 3F 大会議室

6. 定員：80名(先着順 介助者含む)

7. 参加費：500円(資料代として・介助者で資料不要の場合は、無料)

8. 内容(12:30 受付開始)

13:00 開会

13:00 主催者挨拶

13:15 特別報告：被災地の現状と障害者団体の取り組み

～東日本大震災への取り組みと阪神淡路大震災の経験から～

講師：DPI日本会議事務局長 尾上 浩二 氏

14:15 休憩

14:30 シンポジウム：被災地の現状から道内の災害要支援者への対応を考える

シンポジスト：北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課長

梅井 治雄 氏

札幌市保健福祉局総務部総務課福祉活動推進担当係長

只野 徹 氏

障害者自立支援センター歩歩路理事長

澗口 幸子 氏

相談室 すきっぷ 相談支援専門員

窪田 健介 氏

コメンテータ：DPI日本会議事務局長

尾上 浩二 氏

進行役：DPI北海道ブロック会議 議長

西村 正樹

17:00 閉会

災害時における障害児・者の現状と課題を考える
道民フォーラム

— 参加申込書 —

(必要事項を記入し FAX またはメールでご返信ください。)

(フリガ)

氏名： _____

所属名： _____

住所：〒 _____

電話：(_____) _____ FAX：(_____) _____

E-mail： _____ {メールでの情報提供 希望する 希望しない}

* DPI 北海道では、このような企画や福祉関連の情報提供を内容により会員以外の方にもメールで送信することがあります。こうした情報提供を希望する DPI 北海道の会員及び既に登録済み以外の方は、情報提供希望の有無についてご記入いただければ幸いです。

介助者：	同伴する (_____ 人)	同伴しない
車いす：	使用している (手動タイプ 電動タイプ)	使用していない
介助犬：	同伴する (盲導犬 介助犬 聴導犬)	同伴しない
データ資料：	必要である	必要ない
手話通訳：	必要である	必要ない
要約筆記：	必要である	必要ない
移送移動：	利用する (往路 ・ 復路)	利用しない

<留意事項>

- * 必要事項を記入または○で囲み、FAXかメールで送信してください。また、DPI北海道のHPからも申込できます。
- * データ資料は、視覚障害者のみとします。
- * 団体での申込みの場合は、当日出席する団体代表者を氏名欄に記載し、以下に参加者名と車いす等の使用状況を氏名の後ろに (_____) でご記入ください。
- * 駐車場台数が限られていますので、公共交通機関の利用に努めてください。
- * 送迎が必要な方(札幌市内)は、S T ネット北海道から加盟団体をご紹介させていただきます。なお、別途料金が掛かります。
- * フォーラム内容に関連する、質問・意見等あれば、以下にご記入ください。当日の議論に反映させます。